



### 図書館の現状と課題

### これからに向けて

市立図書館は、年間約20万人に利用され、約58万冊の本や雑誌などを貸し出しています。これを市民1人当たりの年間貸出冊数にすると、約5冊になります。

現在の図書館は築後36年を経過して老朽化が進み、76万冊を超える蔵書（郷土資料、貴重資料などを含む）を抱えていることから、施設面でもニーズに対応した図書館サービスを提供するには手狭になっています。

また、他市では図書館が複数ありますが、彦根市は北部に1館しかなく、利用者にとって不便利な立地であることから、新たな図書館建設の要望を多くいただいています。今後、市では、昨年度設置した図書館協議会や市民の皆さんから意見をいただきながら、「図書館整備基本計画」を平成28年度中に策定し、新たな図書館建設に向けた取り組みを具体的に進めていきます。

## 100周年記念行事（5月・6月の予定）

- ▶彦根市立図書館100年のあゆみ展  
【開催中】～5月19日(木)
- ▶プレミアム講演会「高橋玩具コレクション」  
日時 ①5月28日(土) ②6月26日(日) いずれも14:00  
場所 市立図書館 第1集会室  
講師 近江郷土玩具研究会 代表 藤野滋さん  
申込開始日 ①5月10日(火) ②5月28日(土)
- ▶所蔵資料特別講演会「古写真宝箱」  
日時 6月12日(日) 14:00  
場所 みずほ文化センター（田原町）  
講師 両教育委員会彦根城世界遺産登録推進課 小林 隆  
申込開始日 5月24日(火)



◀過去に行われたパネル展、講演会

### 強い彦根へ

彦根市長 大久保貴

設立から100年を迎えた彦根市立図書館。動く図書館のたねばな号とともに市民の皆様が親しまれ、大きな実績を残してきました。現在まで図書館を支えてくださった多くの方々に、100周年に当たり、感謝とお礼を申し上げます。また、市立図書館の特色のひとつに「舟橋聖一記念文庫」があります。図書館の事業として、舟橋聖一顕彰文学賞は年々充実発展を遂げました。関係者のご努力に敬意と感謝を表します。

今日まで「暮らしの中に役立つ図書館づくり」を運営方針に掲げ、幅広い世代にわたって、市民の皆様から愛され、親しまれる図書館づくりに努めてきました。

これからも市民の皆様のための図書館・地域に役立つ図書館づくりに努めるとともに、平成28年度中に「図書館整備基本計画」を策定し、新たな図書館の建設に向けて取り組んでいきたいと思っております。

## 図書館とともに

市立図書館は、市民をはじめ、たくさんの方に利用されています。また、図書館だけではなく団体によるイベントも定期的で開催しています。そうした活動を行っている団体や、利用者の声をお聞きしました。

### 生きていく楽しさをおはなしから伝えていきたい

彦根おはなしを語る会  
会長 辻 まゆみさん

彦根おはなしを語る会は、図書館や保育園、中学校、介護施設で定期的におはなし会などの活動を18人のメンバーでしています。

おはなしを耳で聞くことは子どもの想像力を高め、それが心の成長につながります。本からはさまざまなことを自然と学び、おはなしから生きていく楽しみを味わうことができます。大人が子どもに本を読み聞かせてあげることは、子どもにとってとても大切な経験です。



▲むかしおはなしを語る会

### 子どもたちと本をつなぐかけ橋になりたい

ひこね児童図書研究グループ  
副会長 宮嶋 泰子さん

ひこね児童図書研究グループは、今年の6月で創設から37年になります。26人のメンバーで月に2回のつどいの他、毎週火曜日に勉強会などを行っています。



図書館の本をもっと広めたいという思いからできたグループで、お子さんの健診でブックスタートも行っていますが、子どもさんが本を好きになって図書館に誘われるという声を聞くと嬉しく思います。

これからもメンバーを増やして、さらに活動を充実させていきたいですね。



▲楽しいおはなしのつどい

### 利用者の声

吉田 佳緒里さん  
敦翔くん 紗菜ちゃん



月に2、3回程度子どもたちと一緒に図書館を利用しています。絵本や紙芝居などを借りていて、子どもたちは楽しみながら毎日読んでいます。図書館に来ると、イベントなどを通して知らない本と出会えるきっかけになります。これからも楽しい図書館であってほしいと思います。

